

12月21日インスパイア事業で特別非常勤講師として環太平洋大学の小玉准教授に来ていただきました。体育科生に対して



の話で、パラスポーツのトレーナーとして東京オリンピック等に帯同された経験から、トレーナーとしての仕事やパラスポーツの選手を支える上での大切なことなどを教えていただきました。実技ではストレッチやシッティングバレーを体験させていただきました。私たちは足の裏から汗をかくことで体温調節を図っていることから下肢のない方

は熱中症になりやすいとか普段私たちが分からないことを話され、障がいを持たれた方々と接する上で大切なことを学ぶことができました。本校でも理学療法士やトレーナーを目指す生徒は多いので、とても参考になりました。先生からは礼儀正しく、行動が迅速で話しやすかったとお褒めの言葉をいただきました。丁寧な説明をありがとうございました。

12月23日は終業式。大掃除を終え、体育館に集合。前日からの雪が渡り廊下に積もっており、1階から



の入場で、全体が揃い次第、表彰伝達と近畿大会壮行会から始まりました。表彰伝達では総合文化祭で入選した美術部、写真部、文芸部、書道部の表彰がありました。生活科学科では前号までに紹介したものに加え、3年棚倉千佳さんが全国高校生クリエイティブコンテストでいただいた優秀賞の表彰をしました。運動部では、サッカー部の東播地区1部リーグ優勝、ソフトボール部新人大会3位、柔道部の県新人大会の表彰伝達をしました。その後、柔道部の1月に行われる近畿大会の壮行会に移りました。私と生徒会長から激励をし、菊川主将が力強い挨拶で締めくってくれました。今学期も各運動部、文化部よく頑張りました。すでに1、2年生の活動に移っていると思いますが、目標をしっかりと見据え、頑張ってくれることを期待しています。生徒指導部長からの冬季休業中の生活における注意があり、終業式となりました。

私からは、誰もが知っているイチロー選手の話から生徒たち個人の意識を高める話をしました。『同じ練習をしても何を感じながらやっているかでぜんぜん結果は違ってくるわけです』『大切なのは、自分の持っているものを活かすこと。そう考えられるようになると可能性が広がっていく』という話からは、私が普段生徒との面談で話している「やらされるのではなく自分で必要性を感じてやること、自分を活かすことを考えることが大事」ということと結びつけて説明しました。さらに『夢を掴むこと是一気にはできません。小さな事を積み重ねることによっていつの日か信じられないような力を出せるようになっていきます』『特別なことをするために特別なことをするのはない、特別なことをするために普段通りの当たり前のことをする』という話からは、普段何を意識するか、考えて行動するか大事だと言うことに結びつけました。基本的なことの積み重ねが大きな力になるのは部活動でも、勉強でも当てはまります。面接など普段考えていることを自分の言葉でしっかり話すことだけなのですが、特別なことと考えると取り繕うような話し方になり、緊張したり、うまく話せなかったりします。経験を積むのと同時に考えて行動することで普段通りの幅は広がってきます。そして最後に『結果が出ない時どういう自分でいられるか。決して諦めない姿勢が何かを生み出すきっかけを作る』という話で、実績を残されたイチロー選手の話は言葉に重みがあり、生徒の皆さんが参考にできる内容だと思って紹介しました。最後は元気に3学期のスタートを迎えられるように注意喚起をして話を終了。面談等でも伝えている内容なので、前を向いて考えてもらえればと思います。

最後は2年生の修学旅行結団式。3学期の始業式を待たずに出発しますので、一人ひとりが自覚ある生活を送り、元気に旅行を楽しもうということを伝えました。コロナ禍で気をつけないといけないことは多々ありますが、それら乗り越えて楽しめるようにみんなで協力して行事を盛り上げることができればと思います。よろしくお願いします。

それでは冬季休業。普段できないことに取り組みつつ、体調管理をしっかりと、良い年のスタートを迎えられるよう準備をしてきてください。

